

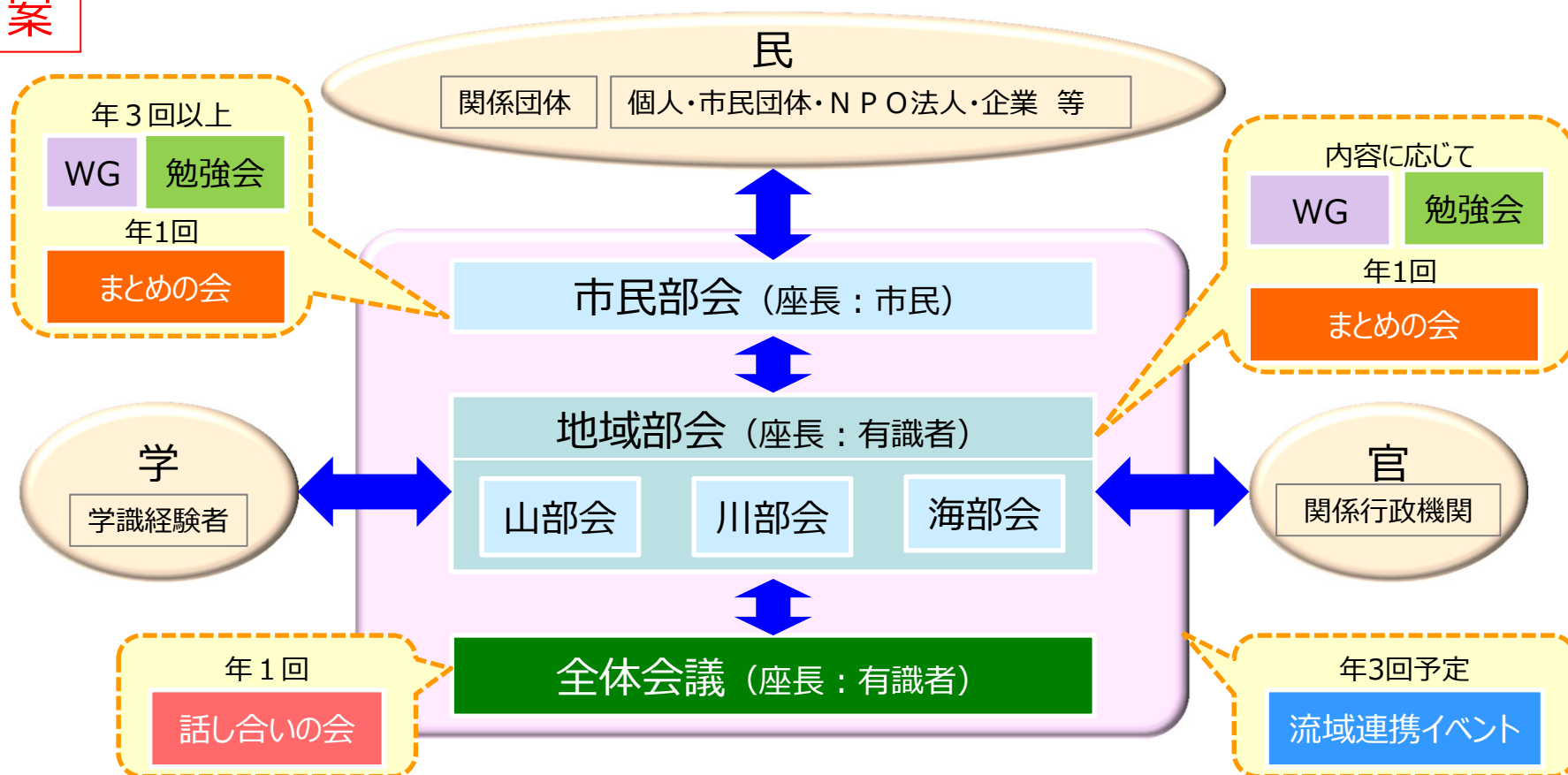
平成30年度以降の懇談会の体制について

資料2

■ 体制図

- これまでの地域部会（座長：有識者）と対等な関係に、市民が主体となる市民部会（座長：市民）を設置して、流域連携テーマや流域のイベントを話し合う場とする。
- 地域部会のWG等は必要に応じて開催するものとし、各部会間の合同部会を設定し、部会間の課題を話し合う。

案



平成30年度以降の懇談会の体制について

■ スケジュール案

- **市民部会**は、12月までに**3回程度**の実施とし、流域連携テーマやイベントについて議論を行う。話し合われた内容については、地域部会にフィードバックして、情報共有と意見交換を行う。
- **地域部会WG**を設け、内容に応じて開催する。また、今まで通り総括として全体会議に向けた「まとめの会」を1月に実施する。
- 各WGの中で、**平成31年度以降に何をやっていくか**について意見を出し合い、部会ごとにとりまとめる。
- **合同部会**は、12月までに**2回程度**設け、抽出されたテーマに対して、議論を行う。
- **全体会議**を2月に設け、一年間の成果と今後の課題を話し合う場とする。
- **流域連携イベント**は、今年度実績である「事例集交流会」「矢作川感謝祭」「三河湾大感謝祭」を想定している。

体制・イベント			月										
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
市民部会	WG	勉強会		← ----- →									
		まとめの会										●	
地域部会・ 合同部会	WG	勉強会		← ----- →									
		まとめの会										●	
全体会議		話し合いの会											★
流域連携に関するイベント			◎					◎	◎				

川部会の活動計画案

部会の3ヶ年の目標（平成28年度～平成30年度）

- これまでの検討をもとに、他地区、他支川へのモデルとなる取組みをとりまとめ、流域圏全体に対して広く情報共有、情報発信していく。
- 具体的な取組み箇所について、継続的なモニタリングと順応的管理を実践する。
- 関係する委員会、自治体、団体と継続的に意見交換し、積極的な連携を進めていく。

テーマ別の活動方針（案）

①本川モデル

- 加茂川水門下流の段差改善を目的とした魚道の検討
- 矢作川総合土砂管理における給砂実験結果の情報共有
- 河川整備対策に対しての事業者との意見交換
- アユの生息環境改善に向けた取組みの情報共有
- 河川環境に関する基礎資料を用いた将来のあるべき姿に関する意見交換の実施

②家下川モデル

- 家下川湛水防除事業における進捗状況モニタリングと情報共有
- ひょうたん池の水量確保・水質改善方法等の検討

③地先モデル

- 『流域圏担い手づくり事例集』作成活動への参加
- 豊田市水辺まちづくり計画の情報共有